

# 施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 5.市民力・地域力の活性化

(基本施策) (1)自立した地域まちづくり活動の促進

(評価担当者)

生活文化部長 佐久間 利夫

## 基本施策が目指す姿

市民が、地域まちづくり協議会の活動を通して、地域の課題解決に向かい、自立した地域づくりに取り組んでいます。

## 関連する分野別計画

## 成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	地域まちづくり計画に基づき事業を展開する地域まちづくり協議会の数	協議会	3	H27	12	22	22			22
2	地域活動拠点施設の利用者数	人	142,213	H27	136,401	144,968	136,628			150,000
3	ホームページにより情報発信している地域まちづくり協議会の数	協議会	8	H28	15	18	20			22
4										

## 市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 身近な地域住民同士の活動が活発に行われている	重要度	0.82	0.69	取り上げた2つの項目では、前回調査よりほぼ下降した結果となっているが、その一方で、同じ市民アンケートにおける地域まちづくり協議会に対する認知度では73.9%と、前回より11.7ポイント上昇している。昨年度、市内のすべての地域まちづくり協議会で地域まちづくり計画が策定されたため、今後、それぞれの地域の特性に応じた活動が活発に展開されるよう支援を続ける必要がある。
	満足度	0.11	0.28	
2 地域の個性が尊重されている	重要度	0.69	0.60	
	満足度	0.37	0.36	
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

## 総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
<b>A</b> 順調に進んでいる	平成30年度にすべての地域まちづくり協議会で地域まちづくり計画が策定され、また、令和元年度からはまちづくり協働課職員が地域担当職員の役割を担うことで、しっかりと地域をサポートできる体制が整ったことなどにより、それぞれの地域では地域まちづくり計画に基づいて主体的に地域まちづくり活動が展開されてきている。成果指標では、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動拠点施設の利用者数が若干減少したものの、ホームページで情報発信する地域まちづくり協議会の数も順調に伸びており、また、地域担い手研修受講者によるサロンも開催されるなど、基本施策が目指す姿である「市民が、地域まちづくり協議会の活動を通じた自立した地域づくり」に向けて着実に進んでいることから、総合判定をAとした。

## 反省点・課題

それぞれの地域まちづくり協議会では、地域まちづくり計画に沿った活動を展開していく段階に移ったこともあり、地域まちづくり推進アドバイザーの派遣を受ける件数も徐々に少なくなってきた。また、地域活性化支援事業補助金については、利用される地域の数が年々増加してはいるものの、この制度を活用している地域に若干偏りがみられることから、これらの制度を効果的に活用いただいで、市内すべての地域でより一層主体的な取組が行われ、さらなる活性化が図られるよう、今後も制度利用の啓発に取り組む必要がある。また、今後、人口減少が進行していくなかで、若者も含めた幅広い世代がまちづくりに参加しやすい機運を高める必要がある。

## 今後の展開方針

各地域まちづくり協議会で地域まちづくり計画に基づいた活動が主体的に展開されて地域がより活性化するよう、引き続き地域予算制度による財政的支援を行うとともに、それぞれの地域が特色ある地域づくり活動を展開できるよう、地域活性化支援事業補助金や地域まちづくり推進アドバイザー派遣制度の活用方法について、地域担当職員による助言や情報提供を推進していく。また、地域担い手育成研修等を通じて、様々な世代の住民が地域で活躍できるよう、地域リーダーの発掘や育成を続けて組織の強化を図る。そして、地域まちづくり活動の活性化等に伴い、施設の充実の必要性も考えられることから、今後も適切な維持管理や計画的な施設整備に努めていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		地域まちづくり活動の活性化							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】				
A	活動	地域まちづくり協議会へ地域まちづくり推進アドバイザーを3地区に延べ3人派遣した。また、地域まちづくり交付金を22地区に21,990千円を交付するとともに、地域活性化支援事業補助金を10地区に2,168千円を交付して財政的支援などを行った。			地域が必要とするアドバイザー派遣や地域まちづくり交付金等を交付して財政的支援などを行ったことにより、地域特性に応じた主体的な地域まちづくり活動が展開された。また、さらなる地域活性化のための自主的かつ主体的な取組をする地域まちづくり協議会へ地域活性化支援事業補助金を交付したことで自立した地域づくりが促進された。				
		順調に進んでいる			評価				
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17093	地域まちづくり協議会支援事業			主	26,531 / 26,044		A	A
	2044	自治会支援事業			標	5,240 / 4,933		A	A
	2045	地区コミュニティセンター等管理運営費			標	83,424 / 81,058		A	A
事業以外の取組	内容							活動	成果

施策の方向		地域まちづくり活動拠点施設の充実							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】				
A	活動	鈴鹿馬子倶楽部や城西地区コミュニティセンターのトイレ改修工事、本町地区コミュニティセンター等のエアコン設置工事、関南部地区コミュニティセンターのカープミラー設置工事など、各施設の工事や修繕を行った。また、地区コミュニティセンター等の指定管理者の選定を行った。			トイレの洋式化や調理室へのエアコン設置、空調機の更新工事等を行うことで、利用者の利便性の向上及び安全性の確保につなげることができた。				
		順調に進んでいる			評価				
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	2045	地区コミュニティセンター等管理運営費			標	83,424 / 81,058		A	A
						/			
事業以外の取組	内容							活動	成果

施策の方向		地域まちづくり協議会の組織強化							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】				
A	活動	亀山市地域まちづくり協議会連絡会議と協働で、地域活動の担い手不足解消を支援するため「地域担い手育成研修」を6回開催し、延べ149人が参加した。また、各地域まちづくり協議会の特色ある活動や各地区の課題解決に向けた取組等の発表と地域間交流を目的に、「地域まちづくり交流会」を開催し、約130人が参加した。			「地域担い手育成研修」を通じて多様な世代の市民が地域まちづくりに楽しく参画するとともに、各地域まちづくり協議会の構成員等が楽しい会議の進め方の技術を習得した。また、「地域まちづくり交流会」で地域間交流が図られるとともに、まちづくり活動の推進につながった。				
		順調に進んでいる			評価				
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17093	地域まちづくり協議会支援事業			主	26,531 / 26,044		A	A
						/			
事業以外の取組	内容							活動	成果

施策の方向		地域まちづくり協議会との連携強化							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】				
B	活動	地域担当職員制度を見直し、まちづくり協働課職員が地域担当職員を担い、各地域まちづくり協議会の会議への出席のみならず日常的に相談を受ける体制を整えた。			体制の見直しにより、各地域まちづくり協議会の課題をより的確に把握し、課題解決に向けてより迅速かつ的確な情報提供や助言が行えるようになり、行政との連携強化につながった。				
		まずまず進んでいる			評価				
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
						/			
						/			
事業以外の取組	内容							活動	成果